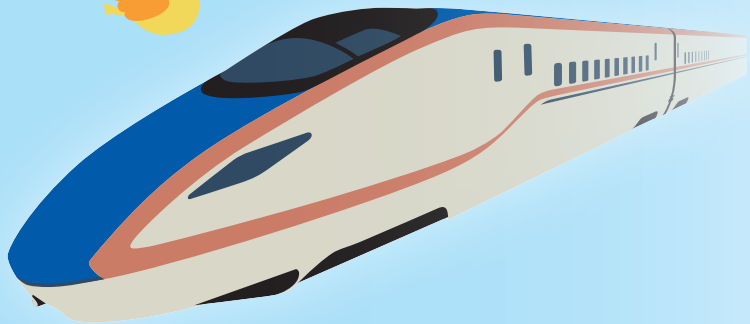


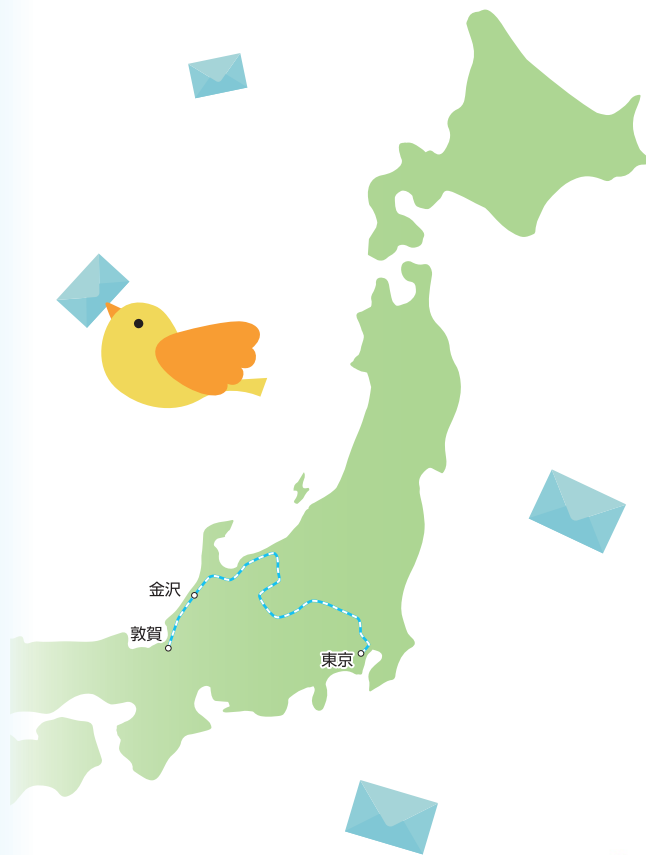
親子の手紙

令和六年度

親子の架け橋一筆啓上



令和六年度 親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」



心の教育推進協議会

11月1日は「いしかわ教育の日」

11月1日～7日は「いしかわ教育ウィーク」



いしかわ教育の日
シンボルマーク

〔印刷用の紙にリサイクルできます〕

きのう、おにいちゃんと
おふろにはいつてるときにおもった。
あおいのここにきずがあるのどうしてときいた。
ままはごめんねといった。
おおくのひとにまもられて
げんきになったしるしといった。
あおいは、げんきです。

杉本すぎもと
蒼唯あおい
(小1 加賀市)

生まれて一ヶ月で、
心臓しんぞうに小さな穴あながあいていると知らしされた時ときは、
どうしようとドキドキしたよ。
大きな手術しゅじゆつに難なんなく耐たえて
元気げんきに育そだってくれてありがとう。
これからも、しるしも家族かぞくも
あなたの事ことを守まもっていくからね。

杉本
真由美まゆみ
(母)

仕事しごとからの帰りかえが遅いおそ時とき、
先さきに帰かえった厳仁つよひとがお米こめを炊たいて、
お風呂ふろまで沸わかしてくれた！

とてもうれしくて、
手順てじゆんをしつかり覚えていてびっくり!!
みんなからおいしいと言いわれて誇ほこらしげ。
ママの自慢じまんの息子むすこだよ。

山岸やまぎし
あき子こ
(母)

おこめたくのは、かんたんだよ。
だって、ママがしているのを
よくみているからだよ。
ぼくは、たまごやきもつくれるよ。
これは、ママよりも
じょうずかもしれないよ。
こんど、すべしやるな
たまごやきをごちそうするよ。

山岸
厳仁つよひと
(小1
羽咋市)

大きくゆれた日、
こわいからどこにも行かないでって泣いてたね。
なのにぎゅって抱っこして、
すぐ仕事に行ってごめんね。
あの日のことおこってる？
でも忘れないで、
ママは莉子のことすごくだいじに思ってるよ。

佐竹 真由美(母)

おこってないよ。
だってママは、わたしのママだけど、
かんじゃさんにとってはスーパーマンなんだよね？
だから、
かっこいいママだなんておもってるよ。
わたしも、
だいすきなママみたいになりたいな。

佐竹 莉子(小1 七尾市)

パパがたんしんふにんになって、

岐阜の天気予報やニュースを見るようになったよ。

岐阜という漢字は

テストでも一回もまちがえてないよ。

パパがいない平日はさびしいけど、

週末は楽しみです。

岐阜でも仕事がんばってね。

堀名 心待 (小4 小松市)

パパは単身赴任になっても、

石川県の天気を見ているよ。

今日は雨や雪で集団登校大変じゃないかなって。

平日は一緒に遊べないけど、

週末は家族でたくさん遊ぼう。

次の週末はどこに行こうかな？

こまち、大好きだよ。

堀名 治喜 (父)

成功した器械運動交歓会。

祖父が手作りしてくれた鉄棒で、

本番まで毎日自分から何回も練習していたね。

手にマメが出来ても一生懸命頑張っていたね。

そのマメは頑張った証。

そんな頑張り屋の芽依が

とてもステキです。

鶴来 未衣(母)

じいちゃんが作ってくれた鉄棒で、

毎日練習して逆上がりが出来るようになったよ。

いよいよ本番になった時

きんちようしたけれど、

がんばって演技をする事が出来たよ。

お父さんお母さん、

一緒に練習してくれてありがとう。

鶴来 芽依(小4 かほく市)

四年生になってバスケットを始めたね。

バスケットを選んだのは

お父さんとお母さんがしていたからだよ。

ふしぎだけど、

どんなにうるさい体育館でも

お母さんの声だけは私にとどいているよ。

これからも私を一番おうえんしてね。

北原 怜(小4) かほく市

不思議だね。

お母さんも四年生からバスケットをしていただけで、

広い体育館で沢山の応援があっても、

両親の声だけは、

嬉しい時も辛い時も、

一番聞こえていたのを思い出したよ。

これからも怜を一番応援するから任せてね。

北原 芽衣(母)

地しんの時、

消防団で活動かつどうしていて、あまり会あえなかつたね。

でも、お父さんのすがたが見えて、

わたしはとっても安心あんしんしたよ。

家族かぞくのだれ一人はなればなれに

なりたくないと思おもっているよ。

これからも、がんばってね。

西にし こはる（小4 珠洲市）

あの時、お父さんは、

にげおくられている人がいないかを

かくにんしながらひなん先むに向むかっていたんだよ。

夜中よなかにみんなに会あえて、

とても安心あんしんしました。

これからも家族みんなで、

仲良なかよくがんばっていこうね。

西にし 靖典やすのり（父）

パパが地震の影響で輪島に行ってから、
ママが家の事全部と自分の仕事と

ぼくたち三人のおせわをしてきているね。

毎日ばたばた大変そう。

だからママは、ちよっとイライラ。

でもね、ぼくも手伝うし

ママの笑顔が見たいよ。

西田 朝陽（小5 かほく市）

ドキリ！

パパが単身赴任になって

いっぱいいっぱいになってるかも。

「君たちを守らなきゃ！」って思ってるよ。

毎晩寝顔を見ながら

「怒ってばっかでごめん。」って一人反省会です。

頼りになる朝陽。ありがとう。笑顔でいるね。

西田 美紀（母）

おじいちゃん、わたしの大好きな中か屋さんを、再開さいかいしてくれて、ありがとう。

たくさんお客きやくさんも来てくれて、

大変たいへんだけどうれしいね。

私わたしのじまんのお店みせだよ。

夏休なつやすみは私も皿洗さらあらいやかた付けづを

手伝てつだうから待まっていてね。

室坂むろさか
彩菜あやな（小5 志賀町）

わたしは七十五歳ななじゅうごさい。

地震じしんでお店がこわれた時は、

もうお店は閉めしようと思おもった。

でも、彩菜が、

「待まちってくれてるお客さんが、たくさんいるよ。」

って、言いってくれたから、

もう一度いちどおいしい料理りょうりを作つくるよ。

がんばるからね。

徳野とくの
外茂男ともお（祖父）

最近、素直になれない。

お母さんに悪口を言ってしまう自分がキライだ。

お母さんは仕事でつかれているのに、

自分の悪口で心をきずつけちゃったよね。

素直になれなくて、

ごめんなさい。

でもお母さんのこと大好きだよ。

北川 獅恩（小6 野々市市）

お年頃故のその態度に

「ついにアレが始まった…」

と息子の成長を感じ嬉しく思う母の心は

全く傷ついていないので大丈夫。

ただ、正直毎回

「イラッ」や「カチン」も

嬉しさとセットの感情ですのでご了承下さい。

北川 妙子（母）

父へ

震災しんさいがあつてぼくの家いえは全ぜんかになり住すめなくなった。それでも、父は消防団しょうぼうだんの活動かっどうや会社かいしゃの仕事しごと、家かたづの片付けかたづをがんばつてくれてありがとう。ぼくも家の片付けかたづを手伝てっだいたいよ。

いっしょにがんばろう。

川瀧かわたき 隼しゅん（小6） 志賀町一瞬いっしゅんにして今いままでの生活せいかつが奪うばわれ、自然災害しぜんさいがいの恐おそろしさを実感じっかんしたね。「ぼくらの未来みらいの家」と隼かが考えたずめずめんん面めんを見てハツとしたよ。家族かぞくのために頑張がんばろうと思おもわせてくれてありがとう。みんなで乗のり越こえて再さいスタートだ！川瀧 剛志たけし（父）

お母さん、
僕はもう反抗期きたんかな。
だって、毎日暴言吐いてしまうし
話したくない時もある。
だけど、うれしい事とかがんばった事を
一番最初に聞いてほしいと思う人は、
やっぱりお母さんです。

山田 隼 (中2 羽咋市)

大丈夫。

毎日のババア攻撃はすっかり慣れました(笑)
それより手紙の最後、

これはもはや母へのラブレターではありませんか。
まだ少し幼い貴方だけど、
これからも、正直でまっすぐな気持ちで
届けられる人でいて下さい。

山田 梢 (母)

能登半島地震から半年ほど経ちました。
もしかしたら僕達は

死んでいたかもしれない。

けどおばあちゃんは生きてくれた。

おいしい朝ごはんも

朝の見送りもなかったかもしれない。

家族の為に生きてくれてありがとう。

川端 秀虎（中2 珠洲市）

震災後家族に支えられながら、

「大切なものはそばにある」と痛感しました。

今は登校時の元気なデカイ後ろ姿、

帰宅時の丸い笑顔が日常の幸せをくれます。

生きようとする力ある限り生きますよ。

秀虎も

命守って生きる力を大切に。

川端 玲子（祖母）

父さん、

いつも遠い道場まで送り迎えをありがとう。

心の中で感謝しています。

ところで最近、

二人の時に沈黙が多くあるので、あえて聞きます。

「どうして厳しい稽古や楽しい将棋を

僕としなくなったの？教えて父さん。」

木戸口 海翔（中3 金沢市）

確かに時々沈黙があるよね。

良い機会なので話すと

海翔が父の体格や技術を超えたと認めたから。

対局を避けるのは半年前、最後に対局した時に

「次は負ける」と確信したから。

もう少しの間だけ

父親の威厳を保たせてもらえるかな。

木戸口 智一（父）

毎日笑っていられるのは

お母さんとお父さんのおかげ。

今日も一緒にご飯が食べられる。

一緒に寝られる。お話ができる。

全部当たり前ではないこと。

亡くなった私の大好きな弟が教えてくれたね。

大切にしないとね。

中越 心虹（中3 羽咋市）

可愛い弟が天国へ行って月日が経ったね。

悲しみも皆で分けあったよね。

でも、楽しかった思い出があるから

大丈夫だよね。

毎日一緒にご飯を食べて、

お話しして、

一緒に眠れるのは幸せだなあと感じます。

中越 典子（母）

いつもママを助けてくれて、
ありがとう。

困っていたり

疲れている顔をしたりしていると、

すぐに「ママ大丈夫？」

と声をかけてくれて

ぎゅっとしてくれます。

そんな優しいしづが

ママは大好きだよ。

いつもありがとう。

それはね、

ママにげんきになって

ほしいからです。

こんどは、

ぼくがさみしいときにママに

ぎゅっとしてほしいです。

ぼくがいつも

おもしろいかおをして

わらわせてあげるね。

若村 真子(母)

若村 静月(小1) 能美市

パパ、相談です。

みんなで寝る前のしりとり、

なぞなぞ、絵本の読み聞かせ、

どれも全部楽しくて大好き。

パパのおもしろいものまねもね。

でもね私、

もうすぐ七才になるから

一人で寝てみようかな。

パパ、さみしい？

そんな、

パパ、シヨック。

ずっと唯愛と一緒に

寝られると思っていたのに。

だけど、唯愛がちよつとずつ

お姉さんへ成長している証だね。

寂しいけれど我慢します。

でもいつでもパパの所おいで。

唯愛のお話、聞きたいから。

川田 唯愛(小1) 金沢市

川田 武志(父)

ママがくれたてがみ
うれしかったよ。

ぼくのすきなところが

ひゃっこもかいてあって、

ワクワクしながらよんだよ。

こんどはぼくが

ママのすきなところを

ひやくいっこおしえてあげる。

ぼくのほうが

ママをだいききなんだ。

三浦 旺祐(小1) 金沢市

ひゃっこ
百個じゃ足りないくらい
毎日好きなのところを

発見しているよ。

こうやって手紙をくれるところも

優しくて大好きだよ。

ママよりも一個多いところが

負けず嫌いの旺祐らしくて

楽しみ。

ママからの返事は

百二個にしようかな。

三浦 真樹(母)

心大朗ってかわいい。

本当に本当にかわいい。

前までは「かわいいね」と言うと

うれしそうにしていたのに、

最近ちょっと嫌そうやね。

お母さんの中では

ずっとかわいい心大朗。

いつまでかわいいて

言わせてくれるかな？

井原 真利子(母)

おかあさん、しってる？

ぼくはもう一ねんせいだよ。

いけんでしょ？

だから、かっこいいにしてね。

これからはぼくじゃなくて、

おれってよぶからよろしくな。

でも、やさしいことをしたときは

かわいいとほめていいよ。

井原 心大朗(小1) 津幡町

嫌だ。

涙、涙、涙。

入学式の次の日から

始まった朝の涙。

お母さんは、知っているよ。

汐里が頑張っている事。

ある日突然言ったね。

「もう明日から泣かない。」

それから一回も泣いていないね。

決めて進むってすごいよ。

だって、おかあさんといっしょに

いたかったんだもん。

でも、ゆめのなかで

おかあさんと

はなしてきめたんだ。

あさ、おかあさんに

ぎゅってしてもらうって。

だから、もう

なかないでがんばれるんだよ。

堀田 あずさ(母)

堀田 汐里(小1 かほく市)

のとじしんで、

おじいちゃんおばあちゃんの

いえがすめなくなり、

じしんがこわかった。

みんながあんぜんに、

くらせるようになりますように。

たなばたに

おねがいごとしたよ!!

七夕にお願いごとしてくれて、

ありがとう。本当だね。

早く避難生活が続いている

おじいちゃん・おばあちゃんが

安全に暮らせるといいね。

地震怖かったね。

みんな怪我なく

命あったことに感謝し、

楽しく過ごそうね。

高田 倭雅(小1 かほく市)

高田 千織(母)

よるねるときに、
 おとうさんとねるのが
 とてもたのしみ。
 わけは、えほんを三さつ
 よんでくれるからです。
 でも、いつも一さつめで
 ねてしまつてごめんね。
 ねてもきこえてるよ。
 こんどは、五さつよんでね。

大橋 歩生（小1 宝達志水町）

たのしみにしていてくれて、
 ありがとう。
 ねてもきこえてるって
 びっくりです。
 がっこうでつかれてるものね。
 こんどは、五さつよみますよ。
 でもね。
 おとうさんも、とちゅうで
 ねてしまうかもしれないな。

大橋 俊宏（父）

おかあさんへ
 ぼくはしつてるよ。
 ぼくがねたあとに
 おかあさんは
 ぼくたちの頭をよしよししたり
 手をにぎったりしてるんだよ。
 心があったかくなったよ。
 またねたふりしよつと！

山本 一步（小2 加賀市）

えー!! バレたか…。
 毎日、一步の寝顔を見て
 あんなに小さかった一步が
 もうこんなに大きくなって
 優しいお兄ちゃんになったなあと
 毎日幸せを感じる時間です。
 こちらこそいつもありがとう。
 家のムードメーカーの一步へ。

山本 早希（母）

いつもお手紙ありがとう。
元気がない時読み返してみると、
今日も一日頑張ろうって
気持ちになったよ。

一年生の時は
平仮名ばかりだったけど、
今は習った漢字で
お手紙書いてくれるね。
お母さんの大切なお守りだよ。

義浦 亜以(母)

おかあさんへ
いつも、いっしょに
ねてくれてうれしいよ。
おかあさんのね、
まくらでねると、
おかあさんのおいがして、
ぽかぽかして、ねやすいんだよ。
これから
おかあさんのまくらでねたいな。
おかあさん大すき。

背久保 はるか(小2 野々市市)

いつもことばで言ってくれるのは
うれしいけど、
お手がみでおへんじがほしいな。
まい日おしごとやお家のことで
いそがしいのは
わかっているけど、
私もお母さんと同じ
大切なたからものがほしい。
ずっとこのころものだから。

義浦 向葵(小2 白山市)

この前「一人で寝るよ」
と言われて驚いたよ。
ちゃんと一人で寝られたね。
はるかの成長を
たのもしく感じたけど、
一緒にいる時間が減って
少しさみしい気もしたよ。
一人で寝る日が増えても、
いい夢を見られますように。

背久保 恵美(母)

おかあさんへ
 いっしょにごはんをつくったね。
 はじめてのことがあって、
 ドキドキして、ほうちょうで
 ゆびを切ってしまったことも
 あったよね。
 でもこれからも
 二人でおいしいごはん
 つくろうね。

宮崎 ひかり (小2 野々市市)

包丁で指が切れた時は、
 びっくりしたね。痛かったね。
 お母さんも
 おつちよこちよいやし、
 たまに切ってしまうけど、
 失敗しながら上達していこう!!
 一緒に作ると楽しいよね。
 また一緒に作ろうね。
 いつもありがとう。

宮崎 美穂 (母)

パパ!
 あまえ上手なちーちゃんばかり
 だっこしたり、
 おんぶしたりするい!
 妹っていいなあ、うらやましいな。
 わたしのことも
 いつでもだっこしてね。
 しん長の高い
 パパのだっこでわたしも、
 家の天井にタッチ楽しみな!

小森 双葉 (小2 金沢市)

双葉知ってる?
 ちとせが生まれてくるまでの
 二年半、ずっと双葉だけを
 だっこしていたんだよ。
 でも、パパの胸まで
 背が伸びた双葉のことも
 だっこできるように、
 今日から筋トレがんばるね。
 だっこトレニングだ!

小森 隆弘 (父)

おかあさん大すき。
じしんはこわかったけど、
はなれたのが
一ばんさみしかったよ。
水が出なくても
いっしょにいたかったよ。
おかあさんがギューって
してくれたらこわくないよ。
これからは、
ずっといっしょにいてね。

寺山 碧衣 (小2 珠洲市)

碧衣大すきだよ。
心配で避難させることを
決めてごめんね。
さみしかったよね。
こわくなったらお母さんが
ギューってするからね。
多くの人に助けてもらって
今は一緒に暮らせるね。
感謝の気持ちを
わすれないでいこうね。

寺山 育実 (母)

パパ、
土日に東京から
帰ってきたときは、
いっしょにその日の出来事を
話してて楽しいよ。
いつも、空をとんだりしてて、
いそがしいパパ。
たまにちよっかいかけてくるけど、
パパといっしょに
話す時が一番楽しいよ。

坪井 雛那 (小3 小松市)

パパはずっと単身赴任なので、
いつも寂しい思いを
させているね。
じゆなが元気にいてくれる事で、
パパは仕事を頑張っているよ。
これからも、
テレビ電話やたまに会える時に、
沢山色々なお話をしたり
遊んだりしようね。

坪井 亮治 (父)

ぼくはるす番がこわい。
 家に何かがあるような気がするから。
 帰ってくる目安が、みんなといっしょにいる時間。高いところから物。いつもそばにいてくれてありがとう。

馬場 恒佑（小3 白山市）

ばあちゃんへ
 地しんで家が
 なくなってしまうけど
 いのちがあるからよかったよ。
 ぼくの家にきてくれて、
 いっしょに畑ができたよ。
 遊んだりできてうれしいよ。
 こしを大事にして
 ずっと元気でいてね。

萩原 誠也（小3 金沢市）

一人で寝られなかったり
 まだ幼かったりする部分
 が、でも留守番が
 平気になる日は近いかも。
 時々赤ちゃんの時に
 もどってほしいと
 思ったりするけれど、
 スクスク成長していく姿を
 家族みんな見守っているよ。

馬場 祥子（母）

あまりしゃべらない
 誠也君だけど、ばあちゃんには、
 とてもやさしくしてくれて、
 ありがとうね。
 じしんの時は、こわかったね。
 でも誠也君のパパ、ママ
 そして優里ちゃんがいて
 心強かったです。
 またいっしょに遊びましょ。

有野 教子（祖母）

ママは音読するのが上手だね。
 おもしろく役になりきって
 読んでくれるから、物語の中
 入っていくことができるし、
 なにより楽しいよ。
 悲しい気持ちも
 ふっとんじやうよ。
 いつも、
 笑わせてくれてありがとう。
 大好き。

森 智香(小3 かほく市)

ほめてくれてありがとう。
 智香の笑顔が見たいから、
 いつもふざけて
 ちよつとやり過ぎてるかな。
 私の真似をして
 読んでいる智香も、
 すぐく面白くて二人で
 お腹かかえて笑っているね。
 また一緒に音読しようね。
 大好き。

森 里香(母)

とうちゃん、いつも
 田んぼの仕事がんばっているね。
 おれは十八才になったら
 はらさんの所にとうちやんの
 仕事を手伝うために
 しゅぎょうに行くんだ。
 おれがしゅぎょうに行ってる間
 仕事をがんばってね。
 いつもありがとう！

広正 桜太郎(小3 宝達志水町)

桜太郎へ
 原さんは父ちゃんの
 師匠なんだよ。
 その原さんに農業を
 しっかり教わって
 帰って来てください。
 それまでに父ちゃんは、
 桜太郎の時代のための
 準備をしておきます。
 一緒にがんばろうね。

広正 千晴(父)

お母さんが出張へ行くのを
見送った日から、
「ビューン」という
新幹線の走る音が
嫌いだったんだ。
でも、一カ月後に
お母さんを迎えに行った日から、
あの音が少し好きになったよ。
人と人をつなぐ音だって
分かったから。

永井 美晃（小4 小松市）

会えなくてさびしかったけれど、
その日の出来事を
毎日電話できくのが
楽しみでした。
でも、途中から連絡を
ジャマ臭がっていたことを
母は知っています笑。
どうかそう言わずに、
次は一緒に新幹線で
お出掛けしようね。

永井 藍子（母）

毎年、
ぼくのたん生日には、
ケーキが苦手なぼくのために、
大すきなオムライスに
ろうそくを立てて、
お祝いをしてくれて
ありがとう。
そういう工夫をしてくれる
ママが大すきだよ。

大川 琉暉（小4 小松市）

毎年、琉暉のたん生日に
作っているオムライスは、
ママにとっても
特別なものなんだよ。
琉暉の成長と共に、
大きくなっていくオムライス。
今年もうろうそく10本立てて、
ケチャップで『10』って
書いて、お祝いしようね。

大川 由佳里（母）

じいちゃんいつもありがとう。

私は朝、ハイタッチして、

声をかけてくれて

元気をもらえるよ。

おこられて元気がなかった日も、

じいちゃんのおかげで

がんばろうと思えるよ。

じいちゃんは、

パワーをくれます。

じいちゃんこそありがとう。

見守り隊になって、

毎日あなたの顔が見れて、

じいちゃんの方が

元気をもらっています。

これからも元気なハイタッチが

いつまでも出来るように

じいちゃんもがんばります。

よろしくね。

目久田 伶奈（小4 川北町）

中島 外志次（祖父）

私が、学校に行けなかったとき

お父さんは、

「今日は休んでね、むりに学校に

行かなくていいからね。」

と言ってくれたよね。

その言葉を聞いたしゅんかんに、

私は悲しくなかないのに

しぜんになみだが出ていました。

あなたに悩み事があった時は、

お父さんは全力で

あなたの事を守ってあげます。

だから心配しないで下さい。

これからもたくさん悩み、

たくさん泣いて下さい。

あなたのお父さんである限り、

命懸けで守ってみせます。

寺田 佳叶（小4 野々市市）

寺田 佳広（父）

いつもおふるあがりに、
かみをかわかしてくれて
ありがとう。
ドライヤーしながらお母さんと
おしゃべりするのが楽しいよ。
お母さんをひとりじめできる
時間だからね。
こんな時間が
ずっとつづけばいいのにな。

西村 咲舞（小4 津幡町）

その時間、
お母さんも大好きだよ。
二人つきりで会話できる
唯一の時間だもんね。
時々ウトウトする姿も
可愛くて癒されます。
近くでえまの笑顔見られる時間が
ずっと続けばいいなって、
お母さんも同じ気持ちだからね。

西村 千奈江（母）

「挫けそうになっても
我慢できるのがすごいね!!
自分も強くなるし
心も強くなるんやよ。」
心星が言ってくれた言葉。
ママが九歳の時に
こんな事は思えなかったな。
いつも笑顔と
元気が出る言葉を
かけてくれてありがとう!!

森 あゆみ（母）

「なんでこんなことを
考えられるん?」
てママ聞いたよね。それはママが
育ててくれたからだよ。
ママは何でもできる。
だから自分をいっぱい
ほめるんやよ。
これをおぼえておけば
大じょうぶ。大好きなママが
教えてくれたから。

森 心星（小4 かほく市）

いつも、学校に行くとき、あの曲がり角までえがおで手をふってくれてありがとう。それでとてもうれしくなるよ。そんなママが大すぎだよ。これからもそのうれしさをやる気にかえてがんばるね。本当にありがとう。

高島 成珠（小4 かほく市）

「いってきます。」と大きく元気な声で声をかけてくれるから、今日も一日頑張ろうと思えるよ。登校する後ろ姿が今ではあつという間に大きくなってうれしくもあり、少しさびしいかな。これからの成長も楽しみだよ。

高島 めぐみ（母）

今年は大好きなお父さんが育休で家にいてくれるからうれしいよ。ごはんを作ったり、習い事の送りむかえをしたりしてくれてありがとう。おむかえの時、お父さんの顔を見ると、安心してとっても心があたたまるんだよ。

名倉 綾乙（小4 宝達志水町）

お父さんも、綾乙の丸い顔が大好きやで！ 思ってたより育休って大変で、つつい毎日ガミガミしてしまうけど、綾乙と千紘の成長を近くで見守れて、幸せです。こちらこそ、幸せいっぱいありがとう。

名倉 崇文（父）

おばあちゃんといっしょに
生活せいかつできて、
幸せしあわせだなあとと思うよ。

いっただって私わたしを

笑顔えがおにしてくれるし、
かなしんでいる時ときは、
なぐさめてくれる。

だからおねがいだよ。

いつまでも元気で

私のそばにいてね。大好きだよ。

端はし 日菜乃ひなの (小4 七尾市)

ばあちゃんも八十一歳やじゅういちさい。

地震じしんのショックから

元氣げんきも一気に

なくなってしまうたから、

ひなちゃんがいてくれて、

ばあちゃんこそうれしいよ。

ひなちゃんの成人式せいじんしきを目標もくひょうに、

もう少しがんばってみるよ。

よろしくね。

おおはし 大橋 昭子あきこ (祖母)

ママ、最近さいきんいっしょにいる

時間じかんが少すくないね。

でも、働はたらいているママは

かっこいいな。

わたしもそんな

ママみたいになりたいな。

生まれ変わかったら、

ママと姉妹しまいがいいな。

そしたらずっといっしょに

いれるもん！ 大好きだいすだよ！

すなかみ 砂上 葵あおい (小5 加賀市)

仕事しごとで帰かえりが遅おそくなって

さみしい思いをさせてごめんね。

仕事しごとをしている時ときも

いつも心こころの中に

あーちゃんがいるよ。

しっかり者もので

いつも頼たよりになるあーちゃん。

ママにはいつも

本當ほんとうの氣持きもちちを教おしえてね。

大好きだよ！

おおや 砂上 彩あや (母)

ぼくが、いつも学校から帰ってきたら、がんばってお仕事しているお父さんを見てすごいと思います。

ぼくも、将来は仕事を継ごうと思います。

お父さんみたいになれるかは、わからないけどがんばるから応えんしてね。

細田 理斗 (小5 小松市)

毎日たくさん友達と

ワイワイ帰って来る理斗を

仕事しながら迎えるのが

かけがえのない時間です。

友達を大切にすれば

理斗の周りにはいつも人が

集まって来るよ。

お父さんと楽しいお店ができるといいね。

細田 浩次 (父)

お父さん、地震がおきてからいつもしんどいよね。

朝早くから夜おそくまで仕事。

その顔から

本当につらいのが分かるよ。

あんな地震おきなきや

よかったのに。

お父さん、また地震前みたいに元気になってほしいです。

高橋 彩佳 (小5 小松市)

お父さんの心配をしてくれて

ありがとう。

確かに、仕事の帰りが

遅くなったり、休日に

仕事にでかける事もあったりで、

心配や迷惑を

かけてるだろうけど、

地震からの復興に

みんな頑張っているから、

もう少し我慢だね。

高橋 剛一 (父)

あーめんどくさい。
最近おべんとう作ってるけど
ねむくて本当は、やりたくない。
それでも作っているのは、
お母さんが大好きだから。
だからこれからも
お母さんのために
おべんとうを作るね。
がんばるぞー！

村井 華 (小5 小松市)

わーおいしそう！
華の作ってくれたお弁当を見ると
幸せな気持ちになるよ。
朝、絶対眠いだろうな、
無理してないかな、って
心配だったけど、大好きって
言ってもらえると安心するよ。
華のお弁当を食べて
仕事がんばるぞー！

村井 茜 (母)

ふたごでよかった。
うれしい時もつらい時も
いつもとなりにいる。
たくさんけんかもするけれど
いないと不安になる時がある。
そんな特別な存在がいる。
私たちを産んでくれて
ありがとう。
お母さんは大変だったよね。

瀧田 彩羽 (小5 白山市)

今も続くママ争奪戦。
現在進行形で大変だけど、
少し嬉しくもあります。
そして、お互いがかげがえのない
存在だと気づいたことは
もっと嬉しいです。
これからも一つだけ残った
唐揚げを譲り合う
二人の姿を見せてね。

瀧田 康子 (母)

やさしい父ちゃんへ
よくけんかばっかしちやうね。
でも毎回あやまりに
行こうと思うんだ。

だって父ちゃんがいってること
全部正しいんだもん。

はずかしいけど、
いつもおこってくれて
はげましてくれてありがとう。

太一ありがとう。
父ちゃんも「言いすぎたな。」
と思う時があります。

ごめんね。

でも最近太一の言い返す言葉に
成長を感じる事もあって、
うれしく思う事もあります。

これからも口うるさい
親父ですけどヨロシクね。

中谷 太一(小5 白山市)

中谷 猛(父)

この前、お父さんの

パジャマを買ったとき、

同じ色の自分のパジャマを

買ったことが、夏休み前の

一番の思い出になりました。

今でも、おそろいの

パジャマでねると、

とてもいい気持ちになれるよ。

仕事、がんばってね。

お父さんは

お揃いにびっくりしました。

あつという間に、

大きくなっていて、

びっくりもしたし、

幸せな気持ちになったよ。

もつとお揃いの物買おうね。

一芯、いつもありがとう、

元気に学校行ってね。

父、仕事がんばります。

和久田 一芯(小5 野々市市)

和久田 節(父)

妹とお父さんって、
似ててうらやましいな。
早起きなところ。
あまい物が好きなのところ。
頭にうずが二つあるところ。
二人で自転車の
練習しているのも
うらやましいなって
思ってるよ。

お父さんは、
恵麻とお母さんが
似ててうらやましいよ。
好きな教科が同じところ。
しょっぱいものが好きなのところ。
すぐイライラするところも。
でも、家族四人共が
けっこう似ているって、
実は知ってたかな。

坂下 恵麻（小5 羽咋市）

坂下 洋平（父）

あの時行った千枚田、
ひ害を受けてしまったけど、
いつかは、
また行けるかな。
丘の上から見た景色は、
星空のようにきれいだっただね。
またあそこに行こう、
今度は家族みんなで。

能登の景観は
地震で変わってしまったけれど、
復興のために、
沢山の人が
頑張ってくれているよ。
今度見る千枚田からの星空は、
ありがとうがいっぱい溢れて
一段と綺麗に見えるはずだから、
いつか必ず家族で行こう！

N・M（小5 中能登町）

N・K（母）

最近さいきん

よく図書館としよかんに行くようになったね。

よくおすすめの本を

紹介しょうかいしあったり楽しいよ。

わたしは本ほんが好きだから、

いろんな本ほんを選んであげる

そんなママママになりたいな。

ママママは感動屋かんどうやさんやから

感動いっさつの一冊いっさつを選んであげる。

勝気かちきな袖香そでかが

目に涙なみだをためて、

「いい本ほんやった。」って

教えてくれたとき、

ママママは嬉うれしくなったよ。

優しい気持きもちちが伝染でんせんして、

あったかい気持きもちちになりました。

袖香そでかが選ぶ本、

楽しみにしているね。

中島なかしま 袖香ゆずか (小5 七尾市)

中島なかしま 望のぞみ (母)

正月しょうがつの地震じしん

すぐくわかった。

パパパパがいてくれたから

泣なかずにのりこえられたよ。

あの日ひ見た星空ほしぞら覚えてる？

ぼくは一生いっしょうわすれないよ。

今はまだこわいが勝かつけど、

いつか心の準備じゆんびができたら

また能登のとの星ほしを見ようね。

いつか煌真こうまたちに見せたいと
思おもっていた能登のとの星空ほしぞらを、
まさかあんな形かたちで
見るみることになるとは

思おもってなかった。

でもあの星空ほしぞらのおかげで、

少しすこだけ気持きもちちを

落おち着きけることができたね。

いつかまた星座せいざを

見みつけに行いこうね。

道下みした 煌真こうま (小6 金沢市)

道下みした 雅裕まさひろ (父)

うしつばあば、元氣ですか。
地震でお祭りができるか
心配だったけど

できることになったね。

私ほうしつばあばの

たくさんの料理が大好きです。

大変なこともあるけど

今年のお祭りは、

おもしろい楽しみもうね。

大好きだよ。

お祭り楽しんでくれてよかった。
来年は今年よりも
もっともっと楽しもう。

元氣がでるように

さりげないラインも

涙がでるほどうれしかった。

りーちゃんの

やさしさに大感謝、

大大大好きだよ。

蔦濱 莉帆(小6 内灘町)

久田 ゆかり(祖母)

年のはなれた妹と

毎日のように

けんかしているのに、

私が妹のかわいい

写真が撮れたと言うと、

すぐに携帯に送ってねと言って、

待ち受け画面にしているね。

いつも一番

可愛がってくれているのを

知っているよ。ありがとね。

山下 奈美(母)

私の待ち受け画面が
妹なの知ってたんだね。

はずかしいから

バレないようにしていたけど、

やっぱりママは家族の事、

何でも知っているね。

けんかしている時は

許さないって思うのに、

写真を見ると

許しちゃうんだよね。

山下 双葉(小6 内灘町)

去年の親子の手紙に

書いたことが実現しました。

ロードバイクを

手に入れることができて

幸せです。

組み立てに必要な

器具を探したり、

僕の好みに合わせて

調節してくれたたり、ありがとう。

次はお父さんの番ですね。

朋政 陽太（中一 金沢市）

ロードバイクを

組み立てるまでに

山あり谷あり。

三ヶ月もかかってしまったけれど、

嬉しいような顔で

何度もサドルにまたがる姿を

見るとこっちも幸せです。

早く一緒に走りたいね。

お母さんに買うこと

一緒に頼んでくれる？

朋政 貴志（父）

中学校に入學して早三カ月。

四月、ぶかぶかの制服を着て

自転車をごく後ろ姿を、

心配で見えなくなるまで

見送っていたよ。

でももう見送りしなくても

大丈夫そうだけど、

嬉しそうに手を振るから

見送りがやめられないよ。

田辺 都子（母）

中学校へ行っても

見送ってくれてありがとう。

いつも朝早いのに

僕の自転車の準備プラス笑顔での

見送りがとても

「今日もがんばるぞ」

という一日の

パワーになっています。

これからもよろしくね。

田辺 瑛士（中一 かほく市）

中学校生活が始まって
三カ月がたちました。

テストで良い点数をとりたくて

頑張ったけど

結果がついてこなかった。

その時ママは、僕の顔を見て

「泣いたでしょ。」

と言ったね。

何でも分かっちゃうんだね。

ママには完敗だ。

やっぱり悔しくて

泣いたんだね(笑)

中学生になり、

サッカーと勉強に

全力で頑張る姿に

ママも負けてられないなあつて

日々思っているよ。

でもね、決してあきらめないで

目の前のゴールに向かって走る

一颯にはママが完敗だ。

長谷川 一颯(中一 かほく市)

長谷川 千春(母)

口では負けるので

書かせて頂きます。

怒った時の言葉遣いを

直してください。

イラつくと、更に

言い返したくなるからです。

妹とケンカした時に、

私のせいばかりに

しないでください。

でも、私はママが大好きです。

負ける気がしないのですが、

私も書かせて頂きます。

怒鳴り散らす前には

優しく三回

警告しているはずですよ。

ケンカは二人だけの時にして、

私を巻き込まないことです。

あと、「佐菜大好き」も、

負けていませんから。

箕川 佐菜(中一 七尾市)

箕川 佐矢香(母)

私^{わたし}が、ばあちゃん家^{うち}で
こっそり昔^{むかし}のママの写真^{しやしん}
見てるの知^しってた？
今^{いま}となつては、
全^{まった}く似^にていない私^{わたし}とママだけど、
二^{ふたり}人^りとも小さい時^{とき}は
瓜^{うり}二^つつのように似^にてたんだ。
やっぱり親^{おや}子^こだなあと
微^{ほほえ}笑^えんでしまった。

黒田 華羽（中2 川北町）

いつも私^{わたし}に会^あいに
二^に時間^{じかん}かけて金^{かな}沢^{さわ}に来て^きてくれ
ありがとう。
どうしても一^{いっ}緒^{しょ}にいると
だらだらしちゃうけど
本^{ほん}当^{とう}はけっこう
さみしいんですよ。
誕^{たん}生^{しやう}日^びにご飯^{はん}行^いくの
すつごく楽^{たの}しみに待^まってるから
絶^{ぜつ}対^{たい}来^きてね。

上谷 千梨子（中2 金沢市）

この前^{まえ}、ばあちゃんの家^{うち}で
昔^{むかし}の写真^{しやしん}を見ていたら
二^に歳^{さい}の頃^{ころ}の華^は羽^うの写真^{しやしん}が
出^でてきて思^{おも}わず写^し真^まに
微^{ほほえ}笑^えんでしまったよ。
まだ子^こ供^{ども}だと思^{おも}っていたけれど
すつかり大きくな^らったね。
今^{こん}度^どみんな写^し真^ま撮^とりたいなあ。

黒田 さくら（母）

地^じ震^{しん}がおきたことで
生^{せい}活^{かつ}が大^おきく変^かわったよね。
こんなに早^{はや}く
千^ち梨^り子^こたちと離^{はな}れて
暮^くらすことにな^なるなんて
思^{おも}ってなかつたし、
今^{いま}でもこれ良^よかったのか
考^{かん}えるよ。
休^{やす}みのた^たびに
会^あいにいくから待^まってるね。

上谷 律子（母）

「もういいわ」

私の口癖。

相手を挑発するような

言い方で可愛げがない。

何を言えば良いか

分からなかったとか

言い訳を沢山してごめん。

まだ怒られた直後に

素直に謝ることは

できないけど頑張るね。

荒木 瀬良（中2 津幡町）

「じゃあ辞めれば？」

がお父さんの口癖。

相手を挑発するのは

お父さんゆずりですね。

ゴメンナサイ。

でもおこなれながらも

一生懸命何でも頑張る

瀬良の負けず嫌いなところは、

お父さんより

ずっとカッコイイですよ。

荒木 隆光（父）

手紙を書くにあたって

気づいたことがあったよ。

お母さんに全ての

感謝を伝えるには、

百字で収まらないんだよね。

部活のこと、勉強のこと、

家事のこと。

だから、この賞を贈るね。

「世界でいちばん

素敵なお母さんで賞」

北山 小百合（中3 宝達志水町）

ありがとう。

「世界でいちばん

素敵なお母さんで賞」

もらったよ。

こんなすごい賞

もらっちゃっていいのかな。

それではお母さんから。

「何事にも全力な世界で

いちばん頑張り屋さんな娘で賞」

二人で最優秀賞だよ。

北山 グロリア（母）

ママが座るとひよこっと来て、
ママのひざ枕で
ゴロンしてくる弟。

それを見て、
ママの背中を背もたれにして、
ちよんと座ってくる瑠璃華。
今日、学校でうれしい事、
楽しい事あったんだね。
ママ、分かっちゃうよ。

辻口 優子(母)

今、私たち
家族四人は前のように
家族全員で過ごしていません。
来年、私は高校生です。
選択によつては離れて
暮らすかもしれないです。
もう一緒に過ごせる
時間は短いです。
早く家族全員で
いられることを願っています。

青木 大尚(中3 輪島市)

ママの背中、
少しゴツゴツしているけど、
暖かくて気持ちがいいの。
学校はとっても楽しくて
友だちに会えるの
すぐくうれしいの。
けどね、疲れるんだよ。
ママの背中で一休み。
たくさん話聞いてくれて
ありがとう。

辻口 瑠璃華(中3 志賀町)

平穏な生活が
震災により一瞬で
変わってしまいました。
家族とお父さんは仕事のため
別々に暮らしています。
でも前よりお互いを
思う気持ちは強くなりました。
どんなに離れていても
君への愛は
深くなるばかりです。

青木 幸紀(母)